

板橋区基本計画 2025 等の進捗状況

基本目標	Ⅲ「安心・安全で快適な緑のまち」		
個別政策	Ⅲ- 1「緑と環境共生」	(主な行政分野)	環境
10 年後の あるべき姿	人と環境が共生するまち「エコポリス板橋」の実現に向けて、区民・事業者・行政の協働によるまちづくりが進んでいます。 地球温暖化を防ぐ省エネルギー化の取り組みや再生可能エネルギーなどの活用が進み、低炭素社会を実現するまちづくりが進んでいます。 区民一人ひとりや事業所のごみ減量・リサイクルに対する意識が高く、地域全体で取り組みが進み、資源循環型社会が実現しています。 武蔵野台地の面影を残す徳丸・赤塚の樹林地、広大な河川敷を有する荒川や美しい桜並木に彩られる石神井川、住宅と工場が共存する地域に水辺の潤いをもたらす新河岸川など、水と緑やきれいな空気に囲まれ、生物の多様性が保全されるなど、自然環境との共生が進んでいます。		
当該分野の 主な個別計画	板橋区環境基本計画 2025、いたばしグリーンプラン 2025		

1 板橋区基本計画 2025 施策指標の達成状況

指標項目	当初値	目標値 (令和7年度)	現状値 (令和5年度)	進捗状況
01 スマートシティ“エコポリス板橋”の推進				
環境基本計画の進捗状況（㌔）	52.9%	100%	20.0%	停滞
02 脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進				
区内エネルギー消費量(熱量換算)（㍅）	24,307 T J	㍅	20,545 T J (R3 年度)	概ね順調
区内温室効果ガス排出量(C O ₂ 換算)（㍅）	231.4 万 t-CO ₂	162.3 万 t-CO ₂	195.5 万 t-CO ₂ (R3 年度)	
03 環境教育・協働の推進				
人材育成に関わる環境講座参加者数 （㌔）	199 人	400 人	243 人	概ね順調
エコ生活（エコアクション9）の実施 状況（㌔）	82.4%	100%	82.7%	
04 快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進				
微小粒子状物質(PM2.5)の基準値Bレ ベル以上の日数（㍅）	25 日	23 日	0 日	概ね順調
騒音に係る環境基準の達成率（㌔）	79.0%	85.0%	77.4%	
05 循環型社会の実現に向けた取り組みの推進				
区民一人当たりのごみの排出量(ごみ 量+資源量)（㍅）	709g	598g	598g	概ね順調
リサイクル率(総資源化量÷総排出量 ×100)（㌔）	17.9%	28.0%	21.8%	
06 自然環境と生物多様性の保全				
石神井川における生物化学的酸素要 求量(BOD75%値)（㍅）	0.7mg/l	1.0mg/l	1.3mg/l	概ね順調
白子川における生物化学的酸素要 求量(BOD75%値)（㍅）	3.8mg/l	2.0mg/l	2.2mg/l	

指標項目	当初値	目標値 (令和 7 年度)	現状値 (令和 5 年度)	進捗状況
07 緑化の推進と自然にふれあう機会の創出				
公園率(㌔)	5.9%	6.1%	5.9%	概ね順調
区民意識意向調査(緑地保全・自然環境に関する量的満足度)(㌔)	42.9%	㌔	55.8%	
区民意識意向調査(緑地保全・自然環境に関する質的満足度)(㌔)	42.9%	㌔	48.1%	

【進捗状況の評語】

「順調」：計画どおりに進捗しており、目標達成が見込める状態。

「概ね順調」：進捗状況に課題はあるが、事業の継続により目標達成が見込まれる状態。

「停滞」：目標に対してあまり進展していない状態。

2 No.1 プラン 2018～2025 における実施計画事業の進捗状況

事業名	10 か年の目標量	平成 28～令和 5 年度実績	進捗状況
新エネルギー・省エネルギーの普及・啓発	【住宅用】 太陽光発電 1,075 件、太陽熱温水器 20 件 燃料電池 1,500 件、蓄電池 300 件 HEMS1,000 件、断熱住宅化 300 件 集合住宅共用部用LED照明 50 件 CO2削減量 3,521.7 t / 年 【事業者用】 太陽光発電 3 件 省エネ診断に基づき導入する設備等 100 件 CO2削減量 198.8 t / 年	【住宅用】 太陽光発電 252 件 太陽熱温水器 0 件 燃料電池 527 件 蓄電池 65 件 HEMS80 件 断熱住宅化 220 件 既存照明のLED化 集合住宅 318 件 個人住宅 17 件 CO2削減量 1,932.2t/年 【事業者用】 太陽光発電 0 件 省エネ診断に基づき導入する設備等 50 件 CO2削減量 178.02 t / 年	変更
エコポリスセンターの機能充実	大規模改修	令和 4 年度「エコポリスセンターのあり方検討」の結論に基づいて対応中	変更
不燃ごみの資源化	不燃ごみ資源化率 90%	不燃ごみ資源化率 100% (令和元年度～令和 5 年度)	平成 30 年度 計画事業完了
雨水の浸透と利用	雨水貯留タンクの設置数 200 個	雨水貯留タンク設置助成 121 個	変更
いたばし環境アクションポイント事業	事業参加数 家庭 3,000 者 事業者 120 者 CO2削減量(351t-CO2)	事業参加数(うち結果報告者数) 家庭 1,995 者(1,261 者) 事業者 37 者(18 者) CO2削減量(362t-CO2)	順調
プラスチックごみの再資源化	排出実態調査等	プラスチックごみ再資源化回収に向けた検討・準備	順調
区有施設脱炭素化に向けた再エネ 100%電力の計画的導入	再エネ 100%電力新規導入施設：19 施設 CO2削減量(2,999t-CO2)	再エネ 100%電力新規導入施設：19 施設 CO2削減量(2,999t-CO2)	順調

事業名	10 か年の目標量	平成 28～令和 5 年度実績	進捗状況
「光と風の荒川」整備	生物生態園改修、中規模自然地改修、上流グラウンド・駐車場周囲の自然度向上、駐車場整備上流側散策路等整備	生物生態園改修工事 中規模自然地設計	変更
まちなみの緑の継承	保存樹木新規指定 500 本 緑地・樹木の実態調査 緑の基本計画見直し	保存樹木指定 143 本 緑地・樹木の実態調査 緑の基本計画改定	変更
公園の新設	新設 4 か所 増設 2 か所	史跡公園整備準備(平成 28～30 年度)	変更
熱帯環境植物館の改修	設計・実施	設備改修工事	令和 2 年度 計画事業完了
公園の改修	改修 31 か所 バリアフリー化 30 か所	改修 10 か所 バリアフリー化 14 か所	一部遅延等
公園・公衆トイレの改築	整備 36 か所	整備 26 か所	順調
公園遊具長寿命化計画の推進	更新 309 基 修繕 920 か所 塗装 745 か所	更新 210 基 修繕 591 か所 塗装 557 か所	一部遅延等
板橋公園の整備	公園整備改修 複合施設整備	基本計画策定	一部遅延等
赤塚植物園の再整備	管理棟の改築 園路改修	管理棟の改築 園路改修 植物園機能の向上	令和 2 年度 計画事業完了
新たな時代に対応した公園管理・運営手法の創出	パークマネジメント方針決定 測量・図面・図書作成 142 か所	パークマネジメントガイドライン策定 測量・図面・図書作製 127 か所 図面・図書更新 294 か所	令和 2 年度 計画事業完了
高島平地域の安全性の向上と環境整備	高木剪定・伐採 730 本 樹木調査 561 本 植栽工 216 m ²	伐採 468 本 樹木調査 1,414 本 植栽 960 m ²	順調
東板橋公園の再整備	こども動物園改築 公園内施設複合化	こども動物園改築 南部公園事務所移転 庭球場管理施設（複合施設）建設	令和 2 年度 計画事業完了

【進捗状況の評語】

「順調」：概ね計画に基づいた進捗が図られているもの。（7 割以上）

「完了」：計画策定当初の目標又は目的はすでに達成し、計画事業としての役割を終えたもの。

「一部遅延等」：計画事業量に一部遅延等が生じているもの。

「変更」：事業実績や方法等の見直しにより、計画事業外としたもの。

3 令和 5 年度区民意識意向調査等の結果

（1）令和 5 年度区民意識意向調査の結果

調査内容		全体	板橋地域	高島平地域	中学生以下の同居家族世帯
緑地が保全され潤いのある自然環境が量的に整っている満足度		55.8%	46.1%	66.6%	63.5%
緑地が保全され潤いのある自然環境が質的に整っている満足度		48.1%	43.5%	56.1%	55.2%
憩える公園・緑地が量的に整備されている満足度		49.0%	40.2%	57.1%	57.4%
憩える公園・緑地が質的に整備されている満足度		43.8%	37.2%	49.6%	47.7%
		全体			
環境のために現在取り組んでいること	第 1 位	食品が無駄にならない行動（買いすぎない、作りすぎない、家庭菜園による地産地消の実践等）：48.6%			
	第 2 位	省エネ家電（エアコン、給湯器、LED 照明等）の設置：48.1%			
	第 3 位	省エネに配慮した行動：45.4%			
環境のために今後取り組んでみたいこと	第 1 位	食品が無駄にならない行動（買いすぎない、作りすぎない、家庭菜園による地産地消の実践等）：34.6%			
	第 2 位	省エネに配慮した行動：33.7%			
	第 3 位	省エネ家電（エアコン、給湯器、LED 照明等）の設置：30.6%			

（2）板橋区環境基本計画 2025 の環境指標

指標名	当初値	目標値 （令和 7 年度）	現在値 （令和 4 年度※1）
区内温室効果ガス排出量	231.48 万 t-CO2	162.3 万 t-CO2	190.9 万 t-CO2
区民一人当たり一日のごみ排出量	689 g	598 g	622 g
リサイクル率	21.5%	28.0%	22.0%
区全体の植生被覆率	18.3%	21%	18.1%※2
公園率	5.9%	6.1%	5.9%
石神井川及び白子川における生物化学的酸素要求量（BOD75%値）	石神井川 0.7 mg/L 白子川 3.8 mg/L	石神井川 1.0 mg/L 以下 白子川 2.0 mg/L 以下	石神井川 0.9 mg/L 白子川 2.7 mg/L
微小粒子状物質(PM2.5)の基準値Bレベル以上の日数	25 日	23 日	0 日
騒音に係る環境基準の達成率	79%	85%	77%
人材育成に関わる環境講座参加者数	199 人	400 人	348 人
外部人材を活用した環境学習実施校(園)の割合	76.1%	100%	62.2%
環境教育プログラム利用校(園)の割合	74.4%	100%	78.4%
エコ生活(アクション 9)の実施状況	75.0%	100%	83.8%
全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数	25,674 人	31,500 人	16,675 人
エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数	990 人	1,300 人	738 人

指標名	当初値	目標値 (令和7年度)	現在値 (令和4年度※1)
環境登録団体数	27 団体	37 団体	25 団体
環境学習講師派遣人数	363 人	500 人	258 人

※1 「板橋区環境基本計画 2025」令和4年度進捗状況報告に基づく。

※2 5年ごとの調査となるため、直近（令和元年度）の実績を掲載している。

（3）いたばしグリーンプラン 2025 の指標

計画の目標値	項目	当初値	目標値 (令和7年度)	現在値 (令和5年度)
緑の量に関する目標値	緑被率	20.3%	21.0%	19.4% ※R元年度実績
公園整備に関する目標値	公園率	5.9%	6.1%	5.9%
緑の区民満足度に関する目標値	住まいの周りの緑の満足度	35.0%	40%	R6年度調査予定
みどりとのかかわりに関する目標値	みどりのイベント・協働活動参加者数	—	延べ50万人 (H30～R7)	延べ31万人

4 基本計画 2025 計画期間における社会環境の変化等を踏まえた対応

■板橋区ゼロカーボンシティ表明「ゼロカーボンいたばし 2050」

- 地球温暖化対策は、平成 27 年の「パリ協定」を基調とし、「低炭素社会」の実現から、今世紀後半までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「脱炭素社会」の実現へとステージが上がっています。
- 国内でも、令和元年 12 月には都が 2050 年までのCO₂排出実質ゼロをめざす「ゼロエミッション東京戦略」を策定、令和2年 10 月には国が温室効果ガス排出量を 2050 年に実質ゼロにするカーボンニュートラルを宣言しました。また、令和3年 6 月に地球温暖化対策推進法が改正され、2050 年にCO₂排出を実質ゼロにすることが法的に位置づけられました。
- このような状況を踏まえ、区では 2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンいたばし 2050」を表明しました。



5 区民検討会の結果

【意見の概要】

10 年後のめざす姿	実現に向けて必要な政策	区民ができること
バランス良い人口構成と健康維持	①保・幼・学校計画の策定 広報 待遇改善 ②緑の計画策定	①健康増進 ②レクリエーションに参加
緑と水を豊かに活用した生活環境	①緑・水路の再整備 ②環境管理計画の策定・予算化	①環境産業・活動への参加

10 年後のめざす姿	実現に向けて必要な政策	区民ができること
自然を楽しめる	①荒川土手に橋 ②自然保護 ③イベント	①足を運ぶ
ごみ問題（きれいな町）	①ごみ捨てのルールを分かりやすく周知 ②スーパー等に協力してもらう（回収 BOX 設置、いたばし pay でポイント化）	①ごみ捨てのルールを守る
安全安心	①LED 街灯を設置（荒川土手） ②バリアフリー化（段差等）	①区民同士の声かけ

